



ご挨拶



大森 桂

山形大学副学長
ダイバーシティ推進室長

日頃、ダイバーシティ推進室（以下、推進室）の事業にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。推進委員会では、山形大学男女共同参画基本計画（第2次）に基づき、各キャンパスと連携して各種事業を実施しました。今年度は、各種支援制度の充実や表彰制度の新設、ホームページのリニューアルと共に、子育てや介護についての情報提供にも努めました。そのいくつかをご紹介します。

『教育・研究及び就労と家庭生活との両立ための環境作り』に関しては、「研究支援員制度」「学会等参加時の育児・介護支援制度」「女性研究者へのノートパソコン貸出」「保育利用料補助制度」「女性管理職支援制度」を実施しました。また、今年度から新たに「研究中断からの復帰支援制度」を開始し、産前産後休暇や育児休暇明けの教員を対象とした研究助成を行っています。これらの支援については、利用者の利便性を考え、全て電子申請に切り替えました。昨年度から「産休・育休体験談」をHPに掲載していますが、今年度は5人の体験談を追加して充実を図りました。経験者からの等身大の声や工夫を知ることにより、産休・育休取得の心理的バリアを低くし、周囲の理解を促し、スムーズな産休・育休取得及び職場復帰につなげることを目的としています。閲覧者からは、具体的な取得談であり大変役に立ったとの声が寄せられています。また今年度も、学生支援課と連携し、「生理用品の無償配布」を実施しました。

『男女共同参画推進及びダイバーシティのための教育・研究の充実』を図るために、男女共同参画及びダイバーシティに関する顕著な研究業績や実践活動を表彰する制度として「山形大学男女共同参画及びダイバーシティ推進賞」を新設しました。12月に学長室にて表彰式が行われ、受賞者第一号となった池田弘乃教授に賞状と副賞を授与しました。なお、今年度はこの他にも、本学の栗山恭直教授が山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰、河野銀子教授（当時）が東北大学澤柳記念DEI賞を受けられる等、学外からも評価を受ける喜ばしいニュースが続きました。

『男女共同参画及びダイバーシティへの意識改革の促進』では、新型コロナウイルス感染症の影響により見送られていた「山形大学男女共同参画及びダ

イバーシティフェスタ」を4年ぶりに開催しました。LGBTQに関する取組み等のポスターを始め、「山形大学における多様な性に関するガイドライン」「カラフルcafé」「アンコンシャス・バイアス」に関するパネルを展示しました。さらに、本学出身で、日本で3人目の女性理学博士、理化学研究所初の女性主任研究員となった「加藤セチ博士」の半生や功績も紹介しました。アンケートからは、「普段当たり前だと思っていたことを考え直す良いきっかけになった」との声が寄せられました。また、学内で開催されているカラフルカフェ、米沢キャンパス内にある旧米沢高等工業学校のレインボーライトアップ等、ダイバーシティに関わる各種団体のイベントについても、HP等で積極的に発信しました。

『女性研究者の裾野拡大』については、「山形大学女性大学院生ネットワーク（山大JOIN）」を組織し、出前講座において高校生に向けたメッセージを院生が直接語りかけました。JOINのメンバー同士あるいは先輩と研究や学生生活の情報を共有したり、将来のキャリア等について相談し合う交流会の開催、後輩に向けたメンバー主催のプレゼンセミナー等も企画・実施しました。JOINの活動をより多くの方に知ってもらうために、大学HPで発信するだけでなく、大学広報誌に特集記事を掲載しました。各キャンパスにおいても、中高校生向けの裾野拡大セミナー、女性研究者の研究紹介や研究室見学など、各学部の特徴を生かして積極的に実施して頂きました。

男女共同参画推進室の名称を「ダイバーシティ推進室」に改名して2年となります。その設置基盤となる基本計画では、「本学の学生及び職員が性別、性的指向・性自認等にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮でき、かつ、学業・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現することを目的とする」とあります。次年度は、基本計画の推進状況を評価するために、第8回男女共同参画及びダイバーシティアンケート調査を実施します。本学の男女共同参画並びに多様性と包摂の推進のために、分析結果に基づき、各種事業をたゆまず、より効果的に展開していく所存です。引き続き、教職員の皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、学内外の方々から忌憚のないご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

CONTENTS 【目次】

I. 男女共同参画行動計画と推進組織

① 目的・基本方針・令和5年度具体的施策（行動計画）	04
② ダイバーシティ推進委員会委員	10
③ ダイバーシティ推進室員	11
④ ダイバーシティ推進室米沢分室員	11

II. 2023年度活動報告

① 意識改革	
(1) 山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナー	12
(2) 令和5年度 山形大学男女共同参画及びダイバーシティフェスタ	13
(3) 山形大学レイシャル・ハラスメント防止セミナー	14
(4) 学長・学部長と女性研究者との懇談会	15
(5) 新任職員ミーティング～新任者と語るワークライフバランス～	16
(6) 女性研究者の集い	17
(7) 多様な性に関するガイドライン	18
② 仕事と育児等との両立支援	
(1) 各種保育利用料補助制度	19
(2) 研究支援員制度	20
(3) 学会等参加時の保育・介護支援制度	21
(4) 女性管理職支援制度	21
(5) 女性研究者へのノートパソコン貸出し	22
(6) 研究中断からの復帰支援制度	22
(7) 保育所利用状況（入所者数）	23
③ 女性研究者の裾野拡大	
(1) 女性研究者裾野拡大セミナー	24
(2) 山形大学女性大学院生ネットワーク（略称 山大JOIN）	28
(3) 令和5年度基盤教育・ジェンダー関連授業	29
④ 研究力向上	
(1) 令和5年度「山形大学男女共同参画及びダイバーシティ推進賞」表彰式	32
⑤ アウトリーチ活動	33
⑥ 広報活動	35

III. その他の活動

① ダイバーシティ推進委員会及びダイバーシティ推進室ミーティング等開催状況	37
② 生理用品の無償配布	38

IV. 資料

① ダイバーシティ推進室活動記録	39
② 山形大学の男女別教員数と女性割合	42
③ 国立大学法人山形大学 女性活躍推進法に基づく行動計画	43
④ 国立大学法人山形大学 次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画	44